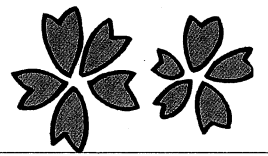


生徒氏名: 松宮 龍太郎

進学先: 筑波大学



息子は高校生活の後半になって「筑波大学でラアビーがしたい」と思う様になったので、私共はネットでの情報収集を始めました。同じ市内では、体育専門学群に進学する子が少ないので、生の声を聞くことが難しいですが、「タイミン」というキーワードでは多くの情報が得られることがわかりました。そこで、私が東京へ行く用事の際にお話を聞くことにしました。その際、ご対応致したのが鈴木健司先生でした。鈴木先生は受験に向けての流れや対策について丁寧に、熱く教えて下さいました。その生徒に対する情熱に感銘した私は、センター試験後の二次対策を代々木校でお願ひして東京を後にしました。

センター試験後に「タイミン生」となった息子は、代々木校で実技・論述の対策を御指導致しました。その中で、先生方から他のタイミン生からかけられるフレンドリーなアドバイスに目付けられたと聞きました。私はこれから大学合格につながることを願っています。

やはり同じ目標に向かう仲間の存在は大きいです!!

私は試験後「結果はともかく、やりました!!」と言って受験を終える事が、結果はともかく重要だと思っています。

私が誰かに「体育系の大学への進学について聞かされた時は、「やりました」と言ってもらいたかったので

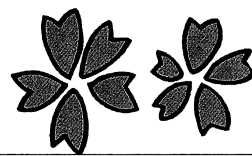
迷わず「タイミン」の話をさせて致します。



本当にありがとうございました。


生徒氏名: 土岐 大輔

進学先: 筑波大学



この度は、細やかなご指導をありがとうございます。この半年お預り志望校合格への道案内がなければ成し得ることはできなかったと思っております。息子の希望は早い時期からはかりにおいたので、親としても受験に関する情報収集もと思い、意を決して“タイシン”に電話をしたのが始まりでした。個別の相談にもすぐ対応いただき、臨機応変で丁寧な助言は親子共々受験モードへの切り替えができた。具体的な準備をすすめることができました。地元開催の説明会では、運動と勉強の配分を意識したり、実技試験の全体像をつかむことで息子自身が今やるべき事を明確に認識し、計画的にすすめることができたと思っております。そこから派生した決意と推進力のおかげで、息子は最後まで楽しんで運動を続け、不安感も最小限にとどめることができたと思っております。雪国ならではのハンデもあまり感じることなく受験に臨めたのは、国立2次実技対策講習会や前日無料講習会などに参加し、タイシンの先生方の助言や受験生同士の交流があったからだと思います。息子は自分で進む道を決め、更なる成長のスタート地点に立ちました。これからも様々な困難に立ち向かうことになると思いますが、養ったたく強い気持ちと、お世話になった方々の暖かい気持ちを胸に、必ず乗り越えてくれると思っております。本当にありがとうございます。

2019. 3. 10

母: 土岐 敏子